



新春のご挨拶

院長 田中洋史



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。新潟市内は雪の少ない新年の始まりとなりましたが、昨年の能登半島地震の被害を受けた皆さんの中には復興途上の方もおられます。一日も早い日常生活への回復とともに、本年が穏やかな明るい年となることを祈念しております。

当院の診療は、患者さんとそのご家族、地域社会の皆さん、連携医療ご施設の皆さん、行政の皆さん、医師会など各関連団体の皆さん、そして当院に勤務するスタッフの皆さんなど、たいへん多くの方々によって支えられています。日頃より当院の診療にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

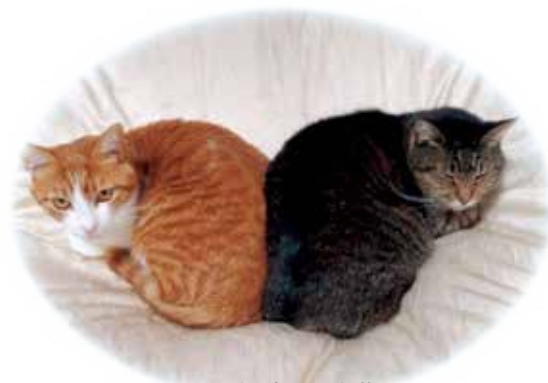
病院経営を取り巻く状況は厳しさを増しており、当院を含む新潟県立病院は赤字経営の大きな問題を抱えております。経営状況の改善に向けて当院としても各種検討、努力しており、一部ではその効果も出ておりますが、まだ十分とはいえない状況です。一方で、がん医療は日々進歩、高度細分化するとともに高コスト化し

ています。1988年竣工の当院は38年目をむかえ、施設の老朽化などで皆さんにご不便をおかけしております。そのような中で最新・最適ながん医療をお届けできるように努力しておりますが、経営状況の改善との両立は容易ではなく腐心しております。ないものやできないことを嘆くのではなく、あるもの、できることを見直して最大限活用することや、当院の強みをさらに活かしていくことが重要と考えております。

がんで悩み苦しんでおられる全ての患者さんにとって、そしてがん診療を支えていただいている全ての皆さんにとって、「ここにがんセンターがあって良かった」と少しでも感じていただけるように努力してまいります。本年もご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

—Contents—

- ◆院長より新春のご挨拶
- ◆がんプロフェッショナル紹介
「消化器外科(食道チーム)」「小児思春期・血液腫瘍科」
- ◆緩和ケア研修会のご案内
- ◆地域医療連携講演会のお知らせ
- ◆「福祉・介護・健康フェア」の開催報告
- ◆連載コラム～栄養課～
- ◆からだのとしよかん通信



編集者の愛猫

がんプロフェッショナル紹介

消化器外科(食道チーム)

消化器外科部長 番場竹生



はじめに

食道がんは早期から転移を起こしやすい悪性度の高いがんとして知られています。治療法は病気の進行度(ステージ)によって、内視鏡治療、手術、放射線治療、化学療法、免疫療法を行います。当院は日本食道学会認定の「食道外科専門医認定施設」であり、消化器外科では食道外科専門医2名を含む常勤医3名の体制で診療を行っております。

食道がんの手術

手術は、食道がんを根治するための重要な治療手段であり、ステージⅠからⅢに対する標準治療です。しかし、食道がんの手術は頸部・胸部・腹部の3領域に及ぶため、身体への負担が大きい手術であり、安全に行うためには術前・術後のケアが欠かせません。

当院では、頭頸部外科医・整形外科医・歯科医師・看護師・言語聴覚士・理学療法士・管理栄養士・歯科衛生士など、多くの専門家が連携するチーム医療体制を整え、食道がんの患者さんの術後の早期の回復を支援しています(図1)。

また、患者さんの年齢や併存疾患に応じて、手術以外の治療法をご提案することも当科の大切な役割と考えております。当院には内視鏡治療や放射線治療の専門家も揃っており、患者さん一人ひとりに最適な治療を提供する体制を整えています。どの科に相談すればよいか迷った場合も、まずは当科までご紹介いただければ総合的に判断させていただきます。



食道がん治療の最近の3つの進化

1) 低侵襲手術の進化: ロボット手術の導入

当院では2007年より創部の小さな低侵襲手術である胸腔鏡手術を開始し、これまでに300件以上の同手術を行ってきました。さらに、2022年には手術支援ロボット「ダビンチ Xi」を導入し、すでに50件以上の手術を行っています。

ダビンチ手術では、ロボットアームの先の小さな鉗子(手術器具)を1cm弱の小さい創から体内に挿入して手術を行います。関節機能をもち自由に動かすことができるロボット鉗子による繊細な手術が可能です。さらに手ブレ防止機能、安定した3D視野等の利点があり、食道がん手術において高い効果を発

揮します。患者さんの身体への負担を軽減しながら、精度の高い手術でがんの根治を目指す治療を行っています（図2）。



2) 術前化学療法の進化: 術後再発の抑制を目指して

ステージⅡ・Ⅲの進行食道がんには、手術「前」に化学療法を行う術前化学療法が標準治療です。最近、術前治療として従来の2剤併用療法（FP療法）よりも、3剤併用療法（DCF療法）の方が生存率を高めることが臨床試験で示されました。当科でも、術前DCF療法を積極的に実施しており、専門医として治療全体を考えながら化学療法を行い、最適なタイミングで手術を行い最大限の効果が得られるように取り組んでいます。

3) 免疫療法の進化: 新たな治療の選択肢

2020年から食道がん治療に免疫療法が加わり、2021年には抗がん剤との併用療法や、異なる免疫療法の併用療法も保険適応となりました。手術不可能なほど進行した食道がんが免疫療法の効果で縮小し、手術可能になった患者さんも報告されています。一方で、免疫療法には特有の副作用（免疫関連有害事象）があることもわかっており、全身の疾患に対応できる診療体制が必要です。当院は多くの診療科があり、がん治療全般に精通した専門家がそろっています。免疫治療による副作用が生じた場合でも迅速かつ万全な対応が可能ですので、安心して治療を受けられます。

さらなる治療の進歩を目指して

当科はJCOG（日本臨床腫瘍グループ）食道がんグループの一員として、未来の治療開発を目指した臨床試験に積極的に参加しています。現在の食道がんの標準治療もJCOGの過去の臨床試験に基づいて確立されたものが多くあります。

また、新薬の治験にも積極的に参加しており、免疫療法も治験段階から当院で治療を行っていました。今後も、より多くの患者さんに効果の高い最新治療を提供できるように取り組んでまいります。

食道がん治療に関するご相談・ご紹介について

ご紹介をいただいた場合は、1-2週間以内に当科受診できるようにしております。緊急性が高い場合（食事がとれないなど）には、即時対応いたしますので、いつでも御連絡ください。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

連絡先：地域連携室 025-234-0011

がんプロフェッショナル紹介

小児思春期・血液腫瘍科

小児科部長 小川淳



はじめに

当科は文字通り小児とそれよりやや年長の思春期の難治性血液疾患と造血器腫瘍、固形腫瘍の診療にあたっています。小児がん診療体制は、小児がん拠点病院と小児がん連携病院のネットワークによって構築されています。当院は小児がん連携病院として新潟地区において質の高い小児がん医療と支援を提供することを目指しています。近年小児がんの治療成績は大きく改善しており、約7割から8割が治癒するようになってきました。本邦でも約20年前に当院も参加している日本小児がん研究グループ（JCCG）が設立されました。JCCGは介入試験を実施するだけでなく中央診断を提供しており、それにより多種多様な小児がんにおいて正確な診断やリスク判定に基づく適切な治療を実行するハイレベルな診療が実現できています。また当院は臨床試験支援部門を設置して新規治療開発に取り組んでいます。当科でも小児がん患者を対象とした企業治験や医師主導治験を積極的に実施しています。

小児がんの集学的医療体制

小児がんの治療には集学的医療体制を必要とします。手術、化学療法、放射線治療、免疫療法、造血幹細胞移植など複数の治療法を組み合わせることで治療効果を最大化しつつ副作用や晩期合併症を最小限に抑えることを目指しています。白血病などの造血器腫瘍に関しては当院で化学療法から造血幹細胞移植まで対応可能な体制が整っています。神経芽腫などのいわゆる胎児性腫瘍に関しては新潟大学医歯学総合病院小児外科で手術療法を行い、当院で化学療法、放射線治療、免疫療法、造血幹細胞移植を行う専門病院間の連携体制が構築されています。また横紋筋肉腫など、小児期や思春期に好発する肉腫については、院内の外科系診療科と連携して診療にあたっています。写真1参照。



写真1：

外来のスタッフと前列右から渡辺輝浩、小川淳、笠原靖史、川上優吾です。また新潟大学医歯学総合病院の応援を得て、小児外科、小児循環器、小児内分泌、小児神経、長期フォローアップの各専門外来を行っています。

小児がん患者への支援体制

小児がんの診療に際しては、患児とその家族を取り巻くさまざまな課題に対応する包括的な支援が必要です。この支援は、身体的、精神的、社会的、そして教育的な側面を含み、患者の QOL（生活の質）を向上させることを目的としています。支援内容は多岐にわたります。身体的支援には栄養管理や体力低下の予防などが有り、これには栄養士、理学療法士や作業療法士が主に関わっています。精神的支援としては、患者サポートセンターの臨床心理士が患児やご家族への心理的支援を担当しています。社会的支援には患者サポートセンターの医療ソーシャルワーカーが経済的支援制度の紹介や在宅医療を必要とする場合の地域支援ネットワークとの連携構築にあたっています。教育支援としては未就学児に対しては保育活動を毎日行っており、小中学生には鏡淵小学校、白新中学校の専任教師が毎日院内で授業を行っています。さらに GIGA スクール構想の恩恵でオンラン授業の体制が整いました。例えば造血幹細胞移植のためにクリーンルーム入室中の患児の授業ができるようになりました。また原籍校とオンラインで繋がって朝のホームルームだけ参加する患児もいます。少し前なら考えられなかった多様な教育支援が可能になってきています。また本年度から小児がんの診療経験のある緩和ケア医が勤務を始めました。終末期だけでなく、入院時からのさまざまな課題にも積極的に関わっています。

患者さんやご家族の支援には多職種の連携が不可欠です。当科では週一回の病棟カンファレンス、教師や保育士を交えた月一回の合同カンファレンスを行って綿密に情報共有を図っています。（写真 2、写真 3 参照。）



写真 2：毎週開催される病棟カンファレンスの参加者です。今日は医師、看護師に加えて薬剤師、栄養士、臨床心理士が参加しました。



写真 3：月 1 回開催される合同カンファレンスの参加者です。院内学級教師、保育士、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士、薬剤師も参加しています。カンファレンスでは新規入院患者の紹介や入院患者の課題について話し合いを持ったりしています。

AYA（思春期若年成人）がんへの対応

AYA 世代は 15 歳から 39 歳までとされています、このうち、小児と同様な治療が有効であることが知られている十代の思春期がんの診療にも、当科は取り組んでいます。そこで診療科名を「小児思春期・血液腫瘍科」と改めることに致しました。AYA がんはまれなため、発症から診断までに数ヶ月を要する場合があります。当科では AYA がんにおいても JCCG の中央診断で迅速かつ正確な診断が可能です。また確定診断後は骨軟部腫瘍科など院内の外科系診療科および新潟大学の外科系診療科と連携して速やかに治療を開始しています。

小児がんの長期フォローアップ体制

多くの小児がん経験者が成人する時代となり「晩期合併症」への対応が重視されています。当院でも2022年春に「長期フォローアップ外来」を開始することに致しました。主治医の退職等により受診の途絶えている経験者や、他の施設で治療を受けられた経験者にも対応します。まず当科外来へお電話下さい。都道府県がん診療連携拠点病院の強みを活かして治療終了直後の小児期から、AYA世代、壮年期に至る文字通りの長期フォローアップがシームレスに実施できることが当院の特徴です。

当科へのご紹介について

患者サポートセンター（地域連携部門）にご連絡ください。受診を急ぐ場合には当科の医師が直接病状をお聞きします。長期フォローアップ外来への紹介を希望される場合は小児思春期・血液腫瘍科外来へ電話連絡をお願いします。 連絡先： 地域連携室 025-234-0011

緩和ケア研修会のご案内

緩和ケアセンター

患者さんの痛みや苦痛を和らげる「緩和ケア」は、がん治療の大切な一部です。

当院では、がん診療に携わるすべての医師が緩和ケアについての基本的な知識を習得し、より質の高い緩和ケアを地域全体で提供できるよう医療従事者向けの研修会を開催いたします。

研修は事前の e-learning と1日の集合研修を組み合わせで行います。医師だけでなく、多職種が参加できることが大きな特徴で、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、MSW など多職種で事例検討やロールプレイを行い、チーム医療を実践的に学べます。また医師の場合、この研修の修了が「がん性疼痛緩和指導管理料」「がん患者指導管理料」等の算定要件となっています。

当院では5月25日（日）、Zoomによるオンライン形式で集合研修を実施する予定です。

新潟県内どこからでも参加が可能で、安心して受講できるよう事前の接続テストも実施します。3月中に詳細をホームページに掲載いたしますので、多職種の方の参加をお待ちしています。

令和6年度 地域医療連携講演会のお知らせ

今年度もWEB（Zoom）による地域医療連携講演会を開催いたします。都道府県がん診療連携拠点病院の研修事業です。ご参加をお待ちしております。

○日時 2025年3月6日（木）18:30～19:50

○内容

第1部	18:35～	「頭頸部がんのA to Z ～地域連携において～」
	19:05	山崎 恵介 頭頸部外科部長
第2部	19:10～	「がん専門病院における大腸がん治療のいま」
	19:40	丸山 聡 消化器外科部長

本講演会は、地域の医療・介護・福祉に従事されている方々を対象にしています。

詳細は同封の案内をご覧ください。事前申込の他に、今年度は当日申し込みも可能です。

お問い合わせ：地域医療連携講演会事務局 患者サポートセンター Tel：025-266-5111(代)

「福祉・介護・健康フェア in NIIGATA 2024」で 協賛セミナーを開催しました

副院長 竹之内辰也

2024年11月9日(土)に、新潟市の産業振興センターにおいて、新潟日报社ほか主催の「福祉・介護・健康フェア in NIIGATA 2024」が開催されました。当院も協賛セミナーとして、「がんにまけない！治療の進化と支え合う力」をテーマに講演とパネルディスカッションを企画しました。

多くのセミナーが開催される中で、当院の企画は一番の人気となり、当日は68名もの方々にご参加いただきました。田中洋史院長が総合司会を務め、以下の内容で行われました。

講演1「卵巣がんの診断と治療」

西川伸道 婦人科部長

講演2「ロボット手術や新しい薬剤を用いた胃癌治療」

會澤雅樹 消化器外科部長

講演3「あなたと家族を支える‘ヒト’がいます！～診断時からの緩和ケアについて～」

大竹美幸 緩和ケアセンター師長

パネルディスカッション 「“がん”と診断されたときにできること」



西川婦人科部長の講演



會澤消化器外科部長の講演

パネルディスカッションではがんサバイバーの味田智子さんをお迎えし、田中院長と大竹師長との3名で座談会を行いました。介護福祉士、介護支援専門員でもある味田さんからは、がん告知時の心情や治療後の生活の経緯についてお話しいただき、参加者からは深い共感の声が寄せられました。

参加者は講演およびパネルディスカッションに熱心に耳を傾け、質疑応答の時間には多くの質問が会場から寄せられるなど、がん医療への関心の高さが伺えました。当院は、がん医療に関する教育・啓発活動を社会的使命として重要視しています。毎年9月にがん市民公開講座を開催していますが、それにとどまらず、今後もこのような機会を積極的に設け、地域の皆様への情報提供と貢献に努めてまいります。



パネルディスカッション

第2回 消化の良い食事について

寒さが続き、風邪をひいたり、おなかの調子が悪かったり、体調を崩すことが多くなる時期です。体調が悪い時の注意点や、消化の良い食事について紹介します。

《食事のポイント》

- ① 腹八分目 食べ過ぎに気をつけましょう。
- ② 食事はゆっくりよく噛んで食べましょう よく噛むことで消化吸収も良くなります。
- ③ 主食・主菜・副菜をそろえてバランスよく食べることが基本ですが、具合が悪い時は食べやすいものを優先に食べましょう。
- ④ 繊維や脂肪の多い食品は控えめにしましょう。

《消化の良い食べ物》 ★調理方法は「煮る」「ゆでる」「蒸す」がおすすめ

【主食】 軟らかく炊いたご飯 おかゆ そうすい 煮込みうどん 食パン

【主菜】 脂肪の少ない肉、白身魚、卵、豆腐

【副菜】 ゆでたり煮たりして軟らかくした野菜、じゃがいも、里芋
野菜スープ、ポタージュスープ

【その他】 バナナ、りんご、果物缶、ゼリー、プリン、ヨーグルト



消化の良いおすすめレシピ お腹にやさしい中華風鶏がゆの作り方

<1人前>

ごはん 軽く1膳 100g

水 適量

サラダチキン 30g

たまご 1個

鶏ガラスープ 小さじ 1/2

塩こしょう 少々

ねぎ お好みで

<作り方>

準備 サラダチキンは食べやすく切ります。

卵は割ってよくほぐしておきます。

- ① 鍋にご飯と水、鶏がらスープを入れて火にかけます。
- ② 煮立ったらサラダチキンを入れて塩こしょうで味を調えます。
- ③ 卵を回し入れて好みの硬さになったら火を止めます。
- ④ お好みでネギを入れて冷ましながらゆっくり食べましょう。



調子の悪い時でもスポーツ飲料やお茶など水分をしっかりとることが大切です。体調に合わせてヨーグルトやゼリーなどのど越しの良い食品や、おじやなど食べやすく消化の良い食事から始めていきましょう。

水分もとれない場合、普段と違う場合は医療機関などに相談しましょう。

栄養課では患者さん一人一人に寄り添った対応を心がけています。食事や栄養のことでお困りの際にはお気軽にお問い合わせください。



からだのとしょかん通信

分かりやすい医学情報を集めた「からだのとしょかん」は外来棟2階にあります。気軽にお立ち寄りください。

情報を集めるときに大切にしたいこと

主治医は、あなたの診断や治療に関してもっとも重要な情報源になります。あなたにとって、今、どのように対応するのが医学的に一番良いか、医学の専門家として責任を持って提案します。まずは主治医の説明をよく聞きましょう。そして、知りたいことは遠慮せずに聞いてみましょう。

とくに確認したいのは、「正確ながんの名前」「そのがんの詳しい性質」「がんの広がり（病期／ステージ）」です。

主治医と話すときには・・・

①あとから見直せるようにメモをとりましょう

専用のノートを作り、日付を入れて順番に書くとよいでしょう。家族や信頼できる人に同席してもらうのもよい方法です。また、会話を録音できることもあります。施設によっては禁止されているところもありますので、録音したいときには「録音してもよいですか？」と聞いてみましょう。

②質問リストをまとめておきましょう

質問したいことを忘れないように準備しておくくと便利です。主治医にリストを渡して、読んでもらうのもよいでしょう。

～担当医に聞いておきたいことの例～

●診断

- ・何という、がんですか。
- ・診断はもう確定していますか、それとも疑いの段階ですか。
- ・がんはどこにあって、どの程度広がっていますか。

●今後の予定

- ・今後、追加の検査はありますか。
- ・何を、いつまでに、決めなければなりませんか。

●治療法

- ・私が受けられる治療には、どのようなものがありますか。
- ・どのような治療を勧めますか、ほかの治療法はありますか。また、その治療を勧める理由を教えてください。

●社会生活

- ・今までどおりの生活を続けることはできますか。
- ・普段の生活や食事のことで気を付けることはありますか。



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「情報を集めるときに大切にしたいこと」「医療者との対話のヒント」

新潟県立がんセンター新潟病院 令和7年2月外来診療予定表

※全診療科完全紹介予約制になります。

		月	火	水	木	金
内科 <small>(金曜循環器は新潟大学より)</small>	401診	栗原 太郎(血液)	小方 則夫(消化器)	廣瀬 貴之(血液)	栗原 太郎(血液)	小山 建一(呼吸器)
	402診	大倉 裕二(循環器)	関 義信(血液)	大倉 裕二(循環器)	石黒 卓朗(血液)	川上 絢子(血液)AM 森山 雅人(血液)PM
	501診		谷 長行(糖尿病)	谷 長行(糖尿病)		谷 長行(糖尿病)
	502診	今井 裕卓(消化器)	大山 泰郎(内分泌)	兼古 祐輔(消化器)AM	大山 泰郎(内分泌)	渡邊 広樹(呼吸器)
	601診	田中 洋史(呼吸器)		三浦 理(呼吸器)	高橋 祥史(消化器)	三浦 理(呼吸器)
	602診	塩路 和彦(消化器)	佐野 知江(消化器)	小林 正明(消化器)	塩路 和彦(消化器)	羽山 綾華(循環器)AM 酒井 亮平(循環器)PM
	201診	(呼吸器内科医師)		梶原 大季(呼吸器)		馬場 順子(呼吸器)
内科新患予定表は下段を参照してください。						
小児思春期 血液腫瘍科	1 診	小川 淳	渡辺 輝浩	笠原 靖史	小川 淳	渡辺 輝浩
	2 診			川上 優吾	長期フォローアップ外来	笠原 靖史
乳腺外科 消化器外科	1 診	神林 智寿子(乳腺)	藪崎 裕(胃)	野村 達也(肝胆臓)	瀧井 康公(大腸)	中川 悟(食道・胃)
	2 診	金子 耕司(乳腺)	會澤 雅樹(胃)	高野 可赴(肝胆臓)	丸山 聡(大腸)	番場 竹生(食道・胃)
	3 診	五十嵐麻由子(乳腺)	福田 進太郎(胃)	神林 智寿子(乳腺)	野上 仁(大腸)	
	4 診	草間 昭宏(乳腺)		瀧井 康公(大腸)予約のみ 河内 裕介(肝胆臓)	青木 亮太/大関 瑛 /荒引 みちる(大腸)	青木 真(食道・胃)
	予防センター-乳腺		金子 耕司	五十嵐 麻由子	神林 智寿子	(乳腺外科担当医)
がんゲノム外来 毎週金曜日 午後						中川 悟(PM)
呼吸器外科	1 診	予約のみ	青木 正	予約のみ	予約のみ	青木 正(AM10時～)
	2 診		岡田 英			岡田 英
骨軟部腫瘍 整形外科	1 診	畠野(2,4週)	山岸 哲郎(AM)		山岸 哲郎	柳橋 和仁
	2 診	柳橋 和仁			畠野 宏史	畠野(1,3,5週) 山岸(2,4週)
脳神経内科 (新潟大学より)		荻根沢 真也		小出 伸		
精神科 (午前のみ)					小林 真理	
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
腫瘍内科 (毎週火曜午後のみ)			周 啓亮(PM)			
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
脳神経外科	1 診	高橋 英明		五十川 瑞穂	高橋 英明	五十川 瑞穂
	2 診	五十川 瑞穂		高橋 英明	五十川 瑞穂	高橋 英明
	3 診					
婦人科	1 診	田村 亮	菊池 朗(AM)	菊池 朗	西川 伸道	櫛谷 直寿
	2 診	櫛谷 直寿	北上 はるか	田村 亮	北上 はるか (AM)	北上 はるか
	3 診	予約のみ	笹川 基 (AM)	遺伝性乳がん・卵巣がん外来 大学:西野 幸治(1,3,5週) 大学:須田 一暁(2,4週)		予約のみ
皮膚科	1診(主に新患)	高塚 純子	中村 杏奈	竹之内 辰也	木村 杏理	西村 和敏
	2診(主に再来)	中村 杏奈	竹之内 辰也	高塚 純子	高塚 純子	中村(1,3,5週) 竹之内(2,4週)
	3 診	木村 杏理	西村 和敏	西村 和敏	中村 杏奈	木村 杏理
泌尿器科	1 診	谷川 俊貴	山崎 裕幸	斎藤 俊弘	斎藤 俊弘	谷川 俊貴
	2 診	中山 亮	白野 侑子	山崎 裕幸	白野 侑子	中山 亮
眼科	1 診	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭
	2 診			佐藤 敬子(AM)	佐藤 敬子(AM)	佐藤 敬子(AM)
頭頸部外科	1 診	黒田 直之(再診)	山崎 恵介(新患)	予約のみ	山崎 恵介(再診)	鈴木 緋奈子(新患・再診)
	2 診	田中 亮子(新患)	田中 亮子(再診)		黒田 直之(新患)	
	3 診	予約のみ	予約のみ		第2,4予約のみ	
放射線 治療科	1 診	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫
	2 診	松本 康男	松本 康男	松本 康男	松本 康男	松本 康男
	3 診	田中 研介	田中 研介	田中 研介	田中 研介	田中 研介
麻酔科	1 診 (ペインクリニック)	富田 美佐緒 高松 美砂子	富田 美佐緒 高松 美砂子	富田 美佐緒(再診のみ)	高松(1,3,5週) 富田(2,4週)	富田 美佐緒(1,3,5週) 高松 美砂子(1,3,5週)
	2 診(漢方外来)	渋江 智栄子		渋江 智栄子	渋江 智栄子	渋江 智栄子(2,4週)
	術前		阿部 崇			
形成外科		2,4週 13~14時(再来)		坂村 律生	坂村 律生	
緩和ケア科		AM/PM 本間 英之	中島 真人	岩淵 晴子	生駒 美穂	太田 久幸
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。*原則新患1日2名になります。新患依頼は外来へお問い合わせください。						
歯科口腔外科 (日本歯科大学より)		AM/PM	AM/PM	AM/PM	AM/PM	AM/PM
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						

内科新患予定表

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
内科新患	101診	2/3 三浦(呼吸器)小林(消化器)	2/4 小山(呼吸器)石黒(血液)	2/5 今井(腎)消化器	2/6 大倉(循環器)	2/7 梶原(呼吸器)
	102診	2/10 関(血液)小林(消化器)		2/12 渡邊(呼吸器)大山(内分泌)	2/13 馬場(呼吸器)佐野(消化器)	2/14 塩路(消化器)
		2/17 三浦(呼吸器)小林(消化器)	2/18 栗原(血液)兼古(消化器)	2/19 今井(腎)消化器	2/20 大倉(循環器)	2/21 梶原(呼吸器)
			2/25 石黒(血液)小山(呼吸器)	2/26 渡邊(呼吸器)大山(内分泌)	2/27 馬場(呼吸器)佐野(消化器)	2/28 塩路(消化器)

※ 変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

新潟県立がんセンター新潟病院 患者サポートセンター(地域連携部門)

TEL:025-234-0011 FAX:025-234-0022 受付時間 月~金 8:30~18:30

がんセンター新潟病院 URL: <http://www.niigata-cc.jp>

時間外のFAXについては、平日夜は翌朝、金曜夜から日曜は月曜の朝にお返事申し上げます